



平成28年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年3月1日

上場会社名 株式会社伊藤園 上場取引所 東
 コード番号 2593 URL <http://www.itoen.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本庄 大介
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 朝野 克己 (TEL) 03-5371-7197
 四半期報告書提出予定日 平成28年3月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年4月期第3四半期の連結業績（平成27年5月1日～平成28年1月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年4月期第3四半期	355,840	8.4	11,898	54.8	11,610	50.6	6,866	72.5
27年4月期第3四半期	328,296	△1.7	7,685	△49.9	7,711	△48.4	3,980	△54.3

(注) 包括利益 28年4月期第3四半期 7,017百万円 (10.0%) 27年4月期第3四半期 6,380百万円 (△32.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年4月期第3四半期	54.51	54.39
27年4月期第3四半期	31.03	30.94

(注) 上記の1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については、以下（参考）をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年4月期第3四半期	274,233	128,603	46.5
27年4月期	285,947	127,761	44.4

(参考) 自己資本 28年4月期第3四半期 127,568百万円 27年4月期 126,822百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年4月期	—	20.00	—	20.00	40.00
28年4月期	—	20.00	—	—	—
28年4月期（予想）	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 上記の配当の状況は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る配当の状況については、以下（参考）をご覧ください。

3. 平成28年4月期の連結業績予想（平成27年5月1日～平成28年4月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	465,000	8.0	15,100	32.5	14,100	25.6	8,770	20.3	68.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注) 上記の連結業績予想における1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については、以下（参考）をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年4月期3Q	89,212,380株	27年4月期	89,212,380株
② 期末自己株式数	28年4月期3Q	535,579株	27年4月期	535,579株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年4月期3Q	88,676,801株	27年4月期3Q	88,638,183株

(注) 上記の発行済株式数は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る発行済株式数については、以下（参考）をご覧ください。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考)

(1) 第1種優先株式に係る1株当たり情報(累計)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年4月期第3四半期	59.51	59.39
27年4月期第3四半期	36.03	35.94

(2) 第1種優先株式に係る配当の状況

(基準日)	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年4月期	—	25.00	—	25.00	50.00
28年4月期	—	25.00	—		
28年4月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

(3) 第1種優先株式に係る連結業績予想の1株当たり情報

	1株当たり当期純利益 (連結)
第1種優先株式 通期	円 銭 78.64

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

(4) 第1種優先株式に係る発行済株式数

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年4月期3Q 34,246,962株 27年4月期 34,246,962株

② 期末自己株式数

28年4月期3Q 108,288株 27年4月期 102,678株

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年4月期3Q 34,141,332株 27年4月期3Q 34,150,251株

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成27年5月1日から平成28年1月31日まで)におけるわが国の経済は、政府の経済対策や金融政策の効果もあり、輸出企業の業績および雇用情勢の改善、外国人観光客の増加などを背景に個人消費が底堅く推移し、緩やかな回復基調が続いております。

飲料業界におきましては、夏場の天候不順による影響や、競争激化による低価格化、原材料コストの上昇懸念などから、経営環境は更に厳しさを増しております。

このような状況の中、当グループは経営理念であります「お客様第一主義」のもと、当グループを取り巻く全てのお客様に対し「お客様が今でもなお何を不満に思っているか」を常に考え、グループ一丸となって積極的な事業活動を行ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高3,558億40百万円(前年同期比8.4%増)、営業利益118億98百万円(前年同期比54.8%増)、経常利益116億10百万円(前年同期比50.6%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、68億66百万円(前年同期比72.5%増)となりました。セグメント別の業績を示すと次のとおりであります。

<リーフ・ドリンク関連事業>

国内においては、茶葉(リーフ)製品につきまして、社内資格制度である「ティーテイスター資格」を保有する社員自ら実演販売や試飲会などの活動を通して、比較的に高価格のパック茶販売を強化しております。また、プレミアムティーバッグシリーズをはじめとして、パウダータイプのインスタント緑茶などの手軽にご賞味いただける簡便性商品が、国内のみならず外国人観光客の皆様にもご好評をいただいております。

飲料(ドリンク)製品につきましては、主力製品であります「お〜いお茶 緑茶」をリニューアルし、秋に向けて「紅葉パッケージ」を展開しました。平成28年1月下旬からは、昨年を引き続き、日本を象徴する「桜」のデザインとともに「桜パッケージ」を順次展開しております。当グループでは、「茶産地育成事業」を推進しており、主に九州地区において、耕作放棄地を積極活用するとともに、生産性と環境保全を両立した大規模茶園経営のもと高品質で安定した原料調達を実現しております。この「茶産地育成事業」によって香りにこだわって育てられた「お〜いお茶専用茶葉」の使用量を増やし、急須で入れたお茶本来の香りとおいしさを追求するとともに、「お〜いお茶」ブランドの更なる価値向上を図ってまいります。

日本茶・健康茶・中国茶飲料におきましては、主力製品であります「健康ミネラルむぎ茶」が好調に推移しているほか、「お〜いお茶 絶品ほうじ茶」、「Relaxジャスミンティー」につきましても引き続き順調に売上を伸ばしております。また、「2つの働き カテキン緑茶」や「黄金烏龍茶」をはじめとした特定保健用食品につきましても引き続きご好評をいただいております。

コーヒー飲料におきましては「TULLY'S COFFEE」ブランドシリーズが引き続きご好評をいただき、更に販売数量を伸ばすなど、業績の向上に寄与しております。

このような販売活動を取り巻く競争激化、消費低迷などの厳しい状況において、更なる原価低減や各経費の見直しを行うとともに、費用対効果を意識しながら販売促進費を投入し、収益性の改善に努めてまいります。

チチャス(株)においては、広島県を中心とした乳類及び発酵乳等の積極的な販売に加え、当社との共同開発によるブランドシナジーを拡大しております。また、ネオス(株)は、西日本に強い販売チャネルを持っており、当グループの自動販売機事業に関して、更なる強化を図っております。

海外においては、米国内での健康志向の高まりと、平成25年12月に「和食;日本人の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを契機に、ITO EN(North America)INC. において「お〜いお茶」などの無糖茶飲料が順調に売上を伸ばしております。また、世界的な抹茶ブームを追い風に、茶葉(リーフ)製品につきましても、抹茶入りティーバッグ商品の販売を強化し、中国事業及び東南アジア事業の基盤確立へ向け、積極的な海外展開を行ってまいりました。

また、平成27年2月3日付で、米国を中心にコーヒー豆の栽培から販売までを行うDistant Lands Trading Company, Inc. が当グループに加わっており、今後は、米国内における当グループ製品の販売など、シナジー効果を追求してまいります。

この結果、リーフ・ドリンク関連事業の売上高は3,306億79百万円(前年同期比8.3%増)となり、営業利益は101億53百万円(前年同期比112.5%増)となりました。

<飲食関連事業>

タリーズコーヒージャパン(株)におきましては、季節商品を中心にドリンク類が好調なことに加え、パスタなどのデリカ類やドーナツなどのデニッシュ類、店頭で販売している蜂蜜につきましても、ご好評をいただいております。また、新規出店も順調に進み、総店舗数は619店舗となり、更なる拡充を続けております。既存店舗の改装などによる活性化を図り、店舗競争力を強化することで、スペシャルティコーヒーショップとしての更なるブランド強化を図ってまいります。

この結果、飲食関連事業の売上高は206億16百万円（前年同期比9.3%増）となり、営業利益は23億62百万円（前年同期比14.6%減）となりました。

<その他>

売上高は45億43百万円（前年同期比12.8%増）となり、営業利益は7億21百万円（前年同期比19.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は次のとおりであります。

【資産】

資産は前連結会計年度末と比較して117億13百万円減少し、2,742億33百万円となりました。主な変動要因といたしましては、「現金及び預金」が27億18百万円増加したこと、「受取手形及び売掛金」が82億9百万円、「その他の流動資産」が63億87百万円減少したことによるものです。

【負債】

負債は前連結会計年度末と比較して125億56百万円減少し、1,456億29百万円となりました。主な変動要因といたしましては、「支払手形及び買掛金」が80億16百万円、「未払費用」が12億62百万円、「リース債務（固定）」が25億54百万円減少したことによるものです。

【純資産】

純資産は前連結会計年度末と比較して8億42百万円増加し、1,286億3百万円となりました。主な変動要因といたしましては、「利益剰余金」が「親会社株主に帰属する四半期純利益」により68億66百万円増加し、「剰余金の配当」により52億54百万円減少したこと、「資本剰余金」が「非支配株主との取引に係る親会社の持分変動」により9億5百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間における業績の進捗状況及び最近の経営環境等を踏まえ、今回見直しをせず据え置いております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項（4）、連結会計基準第44-5項（4）及び事業分離等会計基準第57-4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金が905百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	48,922	51,640
受取手形及び売掛金	51,512	43,302
商品及び製品	26,481	26,748
原材料及び貯蔵品	8,188	8,878
その他	18,640	12,252
貸倒引当金	△148	△124
流動資産合計	153,597	142,698
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,580	19,189
土地	19,413	20,038
リース資産(純額)	33,190	30,294
その他(純額)	8,930	11,101
有形固定資産合計	80,115	80,624
無形固定資産		
のれん	27,791	26,204
その他	6,250	5,634
無形固定資産合計	34,042	31,839
投資その他の資産		
投資その他の資産合計	18,192	19,071
固定資産合計	132,350	131,535
資産合計	285,947	274,233
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,304	25,288
短期借入金	803	1,077
リース債務	11,255	10,675
未払費用	21,325	20,062
未払法人税等	1,251	2,411
賞与引当金	2,791	1,590
その他	5,306	4,172
流動負債合計	76,038	65,279
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	30,551	30,781
リース債務	19,998	17,443
退職給付に係る負債	8,092	8,433
その他	3,504	3,691
固定負債合計	82,146	80,350
負債合計	158,185	145,629

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,912	19,912
資本剰余金	20,259	19,353
利益剰余金	90,949	92,561
自己株式	△1,287	△1,298
株主資本合計	129,833	130,528
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,029	2,047
繰延ヘッジ損益	29	8
土地再評価差額金	△6,092	△6,092
為替換算調整勘定	1,503	1,498
退職給付に係る調整累計額	△480	△422
その他の包括利益累計額合計	△3,010	△2,960
新株予約権	10	25
非支配株主持分	928	1,010
純資産合計	127,761	128,603
負債純資産合計	285,947	274,233

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成27年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成28年1月31日)
売上高	328,296	355,840
売上原価	171,814	191,555
売上総利益	156,481	164,285
販売費及び一般管理費	148,796	152,387
営業利益	7,685	11,898
営業外収益		
受取利息	29	55
受取配当金	54	63
為替差益	476	219
持分法による投資利益	37	44
その他	507	406
営業外収益合計	1,104	788
営業外費用		
支払利息	870	838
その他	208	238
営業外費用合計	1,078	1,076
経常利益	7,711	11,610
特別利益		
固定資産売却益	0	144
固定資産受贈益	26	5
投資有価証券売却益	0	0
立退料収入	11	14
その他	2	—
特別利益合計	40	164
特別損失		
固定資産売却損	17	—
固定資産廃棄損	12	17
投資有価証券評価損	—	3
減損損失	71	54
その他	18	1
特別損失合計	120	76
税金等調整前四半期純利益	7,631	11,697
法人税等	3,528	4,695
四半期純利益	4,103	7,002
非支配株主に帰属する四半期純利益	123	136
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,980	6,866

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年5月1日 至 平成27年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年5月1日 至 平成28年1月31日)
四半期純利益	4,103	7,002
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	524	14
繰延ヘッジ損益	21	△21
為替換算調整勘定	1,641	△30
退職給付に係る調整額	91	55
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△2
その他の包括利益合計	2,277	15
四半期包括利益	6,380	7,017
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,179	6,916
非支配株主に係る四半期包括利益	200	101

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成26年5月1日至平成27年1月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	リーフ・ ドリンク 関連事業	飲食関連 事業	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	305,401	18,866	4,027	328,296	—	328,296
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	241	609	1,926	2,777	△2,777	—
計	305,643	19,475	5,954	331,073	△2,777	328,296
セグメント利益	4,777	2,767	899	8,444	△759	7,685

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれんの償却額△793百万円、セグメント間取引33百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成27年5月1日至平成28年1月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	リーフ・ ドリンク 関連事業	飲食関連 事業	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	330,679	20,616	4,543	355,840	—	355,840
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	271	208	1,934	2,414	△2,414	—
計	330,951	20,825	6,477	358,254	△2,414	355,840
セグメント利益	10,153	2,362	721	13,237	△1,339	11,898

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれんの償却額△1,455百万円、セグメント間取引116百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。